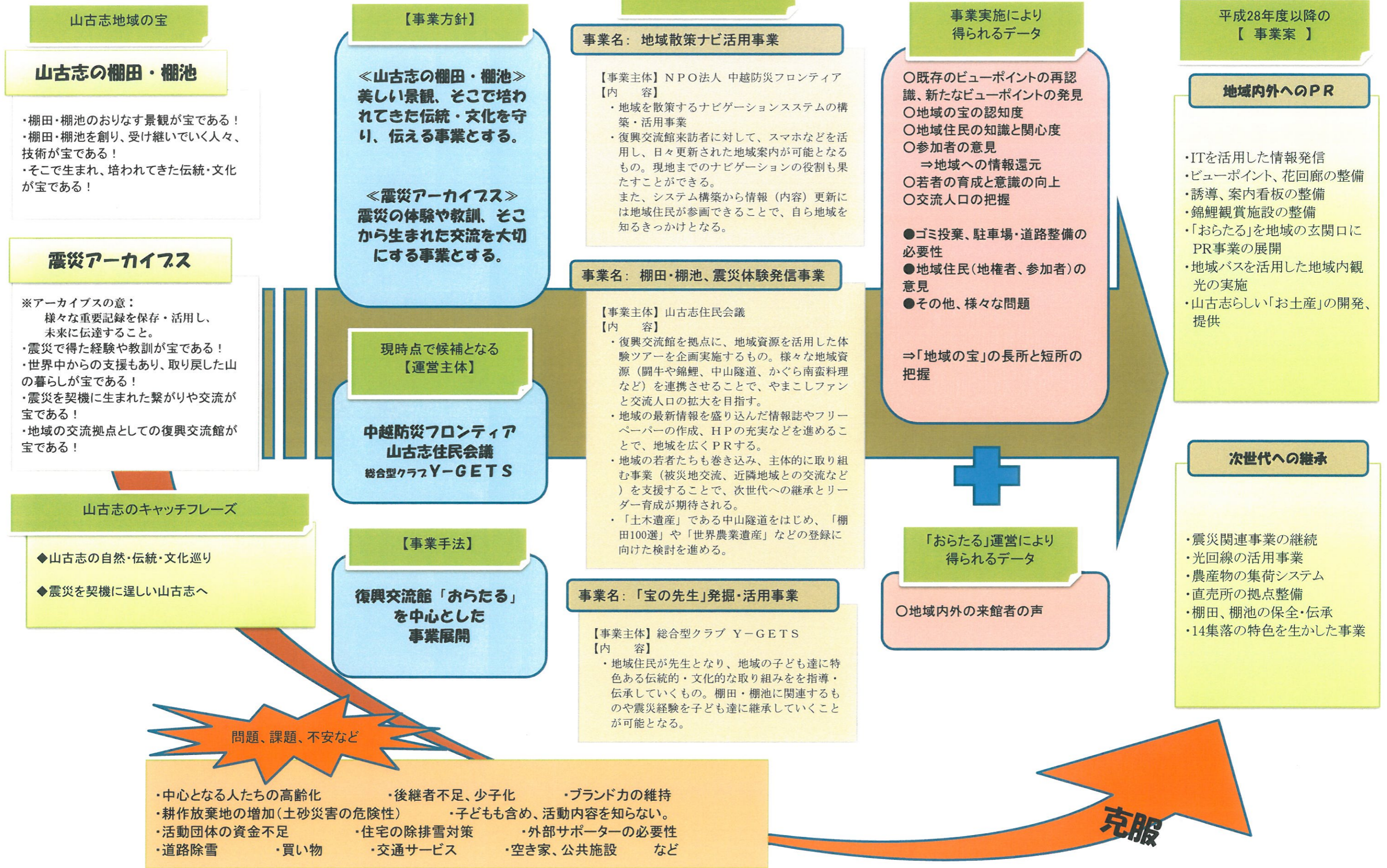


# ○「山古志の宝」磨き上げのイメージ(案)



**山古志地域の宝**

**山古志の棚田・棚池**

- ・棚田・棚池のおりなす景観が宝である！
- ・棚田・棚池を創り、受け継いでいく人々、技術が宝である！
- ・そこで生まれ、培われてきた伝統・文化が宝である！

**震災アーカイブス**

※アーカイブスの意：  
様々な重要記録を保存・活用し、未来に伝達すること。

- ・震災で得た経験や教訓が宝である！
- ・世界中からの支援もあり、取り戻した山の暮らしが宝である！
- ・震災を契機に生まれた繋がりや交流が宝である！
- ・地域の交流拠点としての復興交流館が宝である！

**山古志のキャッチフレーズ**

- ◆山古志の自然・伝統・文化巡り
- ◆震災を契機に逞しい山古志へ

**【事業方針】**

≪山古志の棚田・棚池≫  
美しい景観、そこで培われてきた伝統・文化を守り、伝える事業とする。

≪震災アーカイブス≫  
震災の体験や教訓、そこから生まれた交流を大切に  
する事業とする。

現時点で候補となる  
**【運営主体】**

**中越防災フロンティア  
山古志住民会議  
総合型クラブ Y-GETS**

**【事業手法】**

**復興交流館「おらたる」  
を中心とした  
事業展開**

平成27年度に  
実施される事業

**事業名：地域散策ナビ活用事業**

【事業主体】NPO法人 中越防災フロンティア  
【内 容】

- ・地域を散策するナビゲーションシステムの構築・活用事業
- ・復興交流館来訪者に対して、スマホなどを活用し、日々更新された地域案内が可能となるもの。現地までのナビゲーションの役割も果たすことができる。
- また、システム構築から情報（内容）更新には地域住民が参画できることで、自ら地域を知るきっかけとなる。

**事業名：棚田・棚池、震災体験発信事業**

【事業主体】山古志住民会議  
【内 容】

- ・復興交流館を拠点に、地域資源を活用した体験ツアーを企画実施するもの。様々な地域資源（闘牛や錦鯉、中山隧道、かぐら南蛮料理など）を連携させることで、やまこしファンと交流人口の拡大を目指す。
- ・地域の最新情報を盛り込んだ情報誌やフリーペーパーの作成、HPの充実などを進めることで、地域を広くPRする。
- ・地域の若者たちも巻き込み、主体的に取り組む事業（被災地交流、近隣地域との交流など）を支援することで、次世代への継承とリーダー育成が期待される。
- ・「土木遺産」である中山隧道をはじめ、「棚田100選」や「世界農業遺産」などの登録に向けた検討を進める。

**事業名：「宝の先生」発掘・活用事業**

【事業主体】総合型クラブ Y-GETS  
【内 容】

- ・地域住民が先生となり、地域子ども達に特色ある伝統的・文化的な取り組みを指導・伝承していくもの。棚田・棚池に関連するものや震災経験を子ども達に継承していくことが可能となる。

**事業実施により  
得られるデータ**

- 既存のビューポイントの再認識、新たなビューポイントの発見
- 地域の宝の認知度
- 地域住民の知識と関心度
- 参加者の意見  
⇒地域への情報還元
- 若者の育成と意識の向上
- 交流人口の把握

●ゴミ投棄、駐車場・道路整備の必要性  
●地域住民（地権者、参加者）の意見  
●その他、様々な問題

⇒「地域の宝」の長所と短所の把握

**「おらたる」運営により  
得られるデータ**

- 地域内外の来館者の声

平成28年度以降の  
**【事業案】**

**地域内外へのPR**

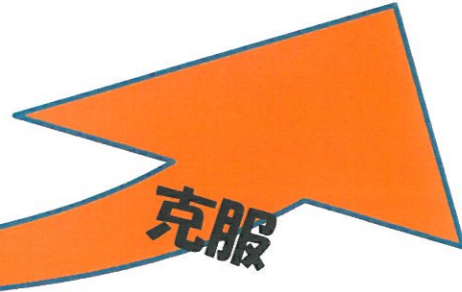
- ・ITを活用した情報発信
- ・ビューポイント、花回廊の整備
- ・誘導、案内看板の整備
- ・錦鯉観賞施設の整備
- ・「おらたる」を地域の玄関口にPR事業の展開
- ・地域バスを活用した地域内観光の実施
- ・山古志らしい「お土産」の開発、提供

**次世代への継承**

- ・震災関連事業の継続
- ・光回線の活用事業
- ・農産物の集荷システム
- ・直売所の拠点整備
- ・棚田、棚池の保全・伝承
- ・14集落の特色を生かした事業

**問題、課題、不安など**

- ・中心となる人たちの高齢化
- ・耕作放棄地の増加（土砂災害の危険性）
- ・活動団体の資金不足
- ・道路除雪
- ・買い物
- ・後継者不足、少子化
- ・子どもも含め、活動内容を知らない。
- ・住宅の除排雪対策
- ・交通サービス
- ・ブランド力の維持
- ・外部サポーターの必要性
- ・空き家、公共施設 など



「宝の磨き上げ事業」平成27年度当初予算(案)の概要

○山古志地域の宝(地域資源)

【山古志の棚田・棚池】      【震災アーカイブス】

○予算(案)の概要

(単位:千円)

事業名	経費区分	説明	運営主体	備考
地域散策ナビ活用事業	補助金	・システム構築、運用経費 520	NPO法人 中越防災フロンティア	
棚田・棚池、震災体験発信事業	補助金	・体験ツアー実施経費 ・情報誌、フリーペーパーの作成、HPの拡充経費 ・地域の若者企画事業実施支援経費 1,870	山古志住民会議	
「宝の先生」発掘・活用事業	補助金	・体験学習実施経費 150	やまこし総合型クラブ Y-GETS	